

令和6年度事業活動報告

(令和7年5月1日現在)

1 法人の概要

(1) 沿革

- 1985（昭和60）年4月 （社）北葛北部医師会幸手准看護学校開校
幸手市大字下字和田 58-1
- 2011（平成23）年4月 （学）橘心学園幸手准看護学校に変更
- 2012（平成24）年4月 1学年定員を50名から60名とする。
- 2014（平成26）年3月 幸手准看護学校を幸手看護専門学校に改める。
- 2014（平成26）年4月 幸手市香日向 4-5-1 に移転し、2学科制とする。
[・専門課程：看護学科2年課程、全日制
・高等課程：准看護学科、全日制]
- 2017（平成29）年4月 看護学科3年課程を増設し、3学科制とし併せて学科名の改称をする。
[・専門課程：第一看護学科3年課程、全日制
・専門課程：第二看護学科2年課程、全日制
・高等課程：准看護学科、全日制]
- 2020（令和2）年4月 3学科の名称の統一化を図る。
[・専門課程：第一学科3年課程、全日制
・専門課程：第二学科2年課程、全日制
・高等課程：第三学科准看護課程、全日制]
- 2021（令和3）年4月 学生定員の変更
第一学科40名を50名、第二学科40名を30名とする。
- 2022（令和4）年4月 学生定員の変更
第一学科50名を60名、第三学科40名を30名とする。
- 2023（令和5）年4月 保健学科1年課程を増設し、4学科制とする。
[・専門課程：保健学科1年課程、全日制
・専門課程：第一学科看護3年課程、全日制
・専門課程：第二学科看護2年課程、全日制
・高等課程：第三学科准看護課程、全日制]

(2) 建学の理念

人間形成と確かな知識と技術の修得

(3) 教育目標

科学的根拠に基づいた看護の実践、看護の判断力、多職種と連携・協働

良い人間関係を育む

(4) 設置する課程

専門課程：保健学科 全日制 1年課程 1学年定員 30名

専門課程：第一学科 全日制 3年課程 1学年定員 60名

専門課程：第二学科 全日制 2年課程 1学年定員 30名

高等課程：第三学科 全日制 准看護課程 1学年定員 30名

(5) 学生数の状況

専門課程：保健学科

	入学定員	実人員	備 考
1年（3回生）	30	30	女子 27、男子 3

専門課程：第一学科

	入学定員	実人員	備 考
1年（9回生）	60	35	女子 29、男子 6
2年（8回生）	60	36	女子 27、男子 9
3年（7回生）	60	44	女子 38、男子 6
計	180	115	女子 94、男子 21

専門課程：第二学科

	入学定員	実人員	備 考
1年（12回生）	30	24	女子 20、男子 4
2年（11回生）	30	17	女子 14、男子 3
計	60	41	女子 34、男子 7

高等課程：第三学科

	入学定員	実人員	備 考
1年（40回生）	30	16	女子 13、男子 3
2年（39回生）	30	15	女子 14、男子 1
計	60	31	女子 27、男子 4

合計	330	217	女子 182、男子 35
----	-----	-----	--------------

(6) 役員の概要

定員数 理事 5 名 実員数 5 名

監事 2 名 実員数 2 名

区 分	氏 名	常勤・ 非常勤の別
理事長	瀧澤三郎	常 勤
常務理事	瀧澤 聡	常 勤
理事	高乗正臣	非常勤
理事	米山泰正	非常勤
理事	矢澤將之	非常勤
監事	長岡千晶	非常勤
監事	川村康雄	非常勤

(7) 教職員の概要

校長 1、副校長 1、副校長補佐 1、学科長 4、教務係長 2、第一学科教務 11（常勤 8、非常勤 3）、第二学科教務 5（常勤 4、非常勤 1）、第三学科教務 4（常勤 4）、保健学科教務 5（常勤 3、非常勤 2）、事務 13（常勤 11、非常勤 2）、部外講師（4 学科計）146 名（医師 28、大学教授 5、准教授 2、助教授 2、元高校教員 3、元小中教員 1、助産師 6、保健師 9、看護師 42、薬剤師 2、臨床検査技師 1、臨床工学技士 1、理学療法士 3、臨床心理士 5、精神保健福祉士 3、放射線技師 2、栄養士 1、管理栄養士 1、その他 29）

2 主な事業概要

本学園の教育理念である「人間形成と確かな知識と技術の修得」のもと、社会のニーズに応えるべく有為な看護職の育成に向け、各科（課）の連絡会議を定期的に行い学生支援業務の円滑化を図るとともに本年度の事業活動の基本方針である「創意工夫による教育活動の推進」、「円滑な組織運営の推進」及び「広報と学生募集活動の推進」の 3 本柱に基づき、それぞれの主な活動に取り組みました。

(1) 創意工夫による教育活動の推進

- ① クラス運営目標を学校の重点目標に合わせ一体化を図った。
- ② 遠隔システムを活用して、第二学科においては、ベルギーと結び現地の状況や国の特性について学んでいる。
- ③ 実践的な事例が活用できる教育用電子カルテを、iPad を活用し看護計画の立案に繋げる授業を行った。

- ④ メディクメディア（カスタマーサクセス：看護師国家試験合格支援プログラム）を活用し学生の学習力を早期に把握し学習支援を行いました。
- ⑤ 特に、第一学科・第二学科の国試に向け模試を合同で受け、互いに尊重しあい励ましあい教育活動を行った。

【保健師国家試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
保健学科	30	29	96.7%

【看護師国家試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
第一学科	54	45	83.3%
第二学科	30	29	96.7%

【准看護師資格試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
第三学科	30	30	100%
第一学科	54	54	100%

* 第一学科においては無資格者をださないよう資格試験を勧めた。

（２）円滑な組織運営の推進

- ① 定例会等を通しての教職員連携
連絡調整会議、（１年 18 回開催）各科教務会及び事務会、各種委員会等定例会を通して情報の共有を図り円滑な学校運営に努めた。
- ② 業務基準と役割を明確にし、報告・連絡・相談・確認と組織運営の理解を図った。
- ③ 各科年間行事等の計画立案の協働
- ④ ハラスメント委員会を設置し、外部有識者も含めて意見を交わしハラスメント予防に努めた。

（３）広報と学生募集活動の推進

- ① 埼玉、茨城、栃木、千葉の高校（指定校 58）、実習病院や准看護学校を訪問し、進路ガイダンスでの説明や進路指導教員と面談し、広報に努めた。
- ② 本校を会場とした学校説明会等を通じて国や県の奨学金制度の積極的な活用を学生に推奨した。
：参考（昨年度は国や県の奨学金制度の活用者は 136 名となった。）
- ③ 社会人向けに AO 入試や社会人入試枠を設け、社会人学生の増を図った。

- ④ 高校生・社会人に向けた進学ポータルサイトへの掲載を行いました、ホームページの更新、Instagram の発信をこまめに行い本校の教育活動状況の周知に努めた。
- ⑤ JR 東鷲宮駅の他に最寄り駅から学生の通学用として東武線幸手駅からのスクールバスの運行を始めた。

その他

学生の就職支援として実習病院 2 施設を招いて合同就職支援会を実施するなどの施策を行った。

3 施設等の状況

所在地	施設等	面積	構造、階	摘要
幸手市香日向 4-5-1	校舎	4,478.1 m ² 1 階 833.19 m ² 2 階 1401.41 m ² 3 階 1097.74 m ² 4 階 1097.74 m ² 塔階 48.02 m ²	鉄筋コンクリート 4 階 建の一部	幸手市より借用 年額 2,476,462 円
	校地	6,221 m ² うち校舎敷地 3,237 m ²		幸手市より借用 (上記校舎借用に含む)
	駐車場	来客者用 310.5 m ²		幸手市より借用 年額 272,580 円
幸手市下川崎 152 番～154 番 2	駐車場	学生用 2,689 m ²		細井勇様より借用 年額 630,000 円
幸手市千塚 1409 先	駐車場	職員用 1,875 m ²		関根俊男様、関根次郎 様より借用 年額 816,000 円